

## 後援会「感謝の集い」を開催しました

9月15日（土）

後援会会員の皆様を始めとし、後援会にご厚志をいただいている皆様に感謝の意を表すため『感謝の集い』を開催しました。

当日は30名ほどの方が参加され、特別講演を楽しんでいただいた後、すみなす会の“いま”をお知らせし、“これから”について一緒に考える機会を設けました。

すみなす会が事業を開始して18年。後援会は法人への支援を脈々と続けてきましたが、今後の取り組みこそが大切という前向きなご意見もいただきました。暖かく和やかな雰囲気の中、閉会することができました。

皆様、ありがとうございました。



後援会が主催し30名程が参加しました。

### 〈加藤後援会会長の挨拶〉

発足18年になる後援会の活動を振り返り、ご協力いただいた皆様への感謝とこれからのに向けた期待を述べました。



### 〈木下理事長の挨拶〉

後援会からの様々な支援に対する感謝と、「すみなす＝住み成す」という理念の実現に向けた今後の抱負を話されました。



## 特別講演「バンクーバー朝日軍」



特別講演はテッドYフルモト氏をお呼びして「バンクーバー朝日軍」の講演をしていただきました。

1900年代前半に人種差別の激しかったカナダで、日系移民たちが立ち上げた野球チーム「バンクーバー朝日軍」。

武士道と大和魂、フェアプレーとスポーツマンシップで、差別にも負けずに闘い続け、やがてカナダ最強チームとなった伝説の野球チームです。彼らは白人社会からも尊敬される存在となりましたが、太平洋戦争で家も財産も全て失い、厳しい状況のなか戦後生き抜きました。2003年、ようやくカナダで名誉回復と野球殿堂入りを果たし、2014年には「バンクーバーの朝日」が映画上映され、その功績が広く知られるようになりました。

フルモト氏はエースピッチャーのご子息で、「バンクーバー朝日軍」の著者です。朝日軍の「勇気と希望」日本人の「利他の心」という文化、そして「平和の尊さ」を熱く語っていただきました。



当時の貴重な写真も



講師のテッドYフルモト氏

## 「すみなす会のいま」



根本事務局長から報告されました。

### 【すみなす会のいま】

- ・平成13年の事業開始以来、実施事業の充実に取り組んできました。
- ・事業の充実に伴い、事業活動収入は当初の4倍になっています。
- ・職員数も当初の3倍になっており、経験豊かな職員も増えています。

### 【現在の課題】

- ・人材の確保と育成
- ・地域からの期待に応える事業の充実

## 感謝の集い

## パネル討論「すみなす会のこれから」



すみなす会の発展のために様々な意見が出されました。

法人の「これから」について意見交換をしました。少子高齢化の進展や福祉業界の人材不足。AI ネットワーク化社会の訪れ。「いま」と「これから」の課題。幅広いテーマについて意見を出し合い今後、取り組むべき事項を探りました。すみなす会はどのように進んでいけば良いのか、会場の参加者からも貴重な意見が出され有意義な討論会となりました。

### 【主な意見】

- ・これから少子高齢化が進み、職員確保が難しくなる。質の高いサービスを提供し続けるためには、職員が辞めない魅力ある職場作りと採用活動の工夫が必要ではないか。
- ・すみなす会のアットホームで働きやすい（育児休業復帰率 100%）という良さと、福祉の仕事ならではの面白さ・やりがいなど、魅力を伝えていきたい。
- ・対人援助は知識・技術が求められる専門的な仕事。自信と誇りを持って取り組んで欲しい。
- ・職員を支える為の体制（研修や資格取得のバックアップ、職員同士の交流の場）は大切。後援会も支援してきた。体制をますます充実させて欲しい。
- ・コミュニケーションとチームワークを大切にする“すみなす会の風土”を大切に、若い職員が成長できる人間関係と風通しの良い職場作りを。
- ・福祉の仕事に対するネガティブなイメージを如何に払拭して社会的イメージを上げていくか。中学・高校・大学など、学校に積極的に向き、福祉の仕事の魅力を伝えてイメージを向上させていきたい。
- ・「人のお世話をするのが好き」という若い人もいます。この仕事がもっと社会から評価されると良い。
- ・IT や AI、情報通信とネットワークの時代がくる。現場の状況に合わせて新しいシステムを導入できるようになることが大いに期待される。
- ・高齢化社会にむけて、高齢福祉部門のサービスの充実が必要ではないか。特色あるサービスを提供する等、具体的に考えていくべき。
- ・障害福祉部門の利用者も、高齢化と重症化が進み、医療ケアが必要となってくる。支援の場でスキルを向上させるなど備えていきたい。



村上友利 常務理事



根本和久 事務局長



加藤邦紘 後援会会長



参加された方から貴重なご意見



司会 黒田幸明 後援会理事

これからも、すみなす会後援会とすみなす会へのご支援を、宜しくお願いいたします。



## 障害者支援施設 航

### ＼ユニット旅行へ行ってきました♪／



7月から11月にかけて、ユニット職員が日々の業務の中、利用者の皆様のご希望を大切に、体調に気遣いながら準備を進めたユニット旅行、無事に行ってまいりましたので、ご報告いたします♪  
8県にまたがる12班のユニット旅行、皆さんの笑顔をご覧ください♪  
（写真が小さいので、すみなす会ホームページでもご報告いたします！）



東京ドイツ村（千葉）



東京ドイツ村（千葉）



海ほたる（千葉）



奥多摩（東京）



伊豆アニマルキングダム（静岡）



江の島（神奈川）



まかいの牧場 富士山（静岡・山梨）



熱海（静岡）



ディズニーリゾート（東京）



伊香保温泉・榛名神社等（群馬）



旧軽井沢リゾート他（長野）



箱根温泉・芦ノ湖（神奈川）



スカイツリー・すみだ水族館（東京）



足利フラワーパーク・佐野プレミアムアウトレット（栃木）





# 地域支援センター



## ★グループホーム 旅行に行ってきました！

秋はグループホームの旅行の季節です。今年は台風の影響もあり、延期や行き先の変更が一部ありましたが、みなさんそれぞれ旅を満喫したようです。



**晴海** 10月に青森に行ってきました！すみなす会 GH 初訪問です。ねぶたの跳人（ハネト）を体験したり、縄文時代の遺跡で「まがたま」を作ったり。青森県立美術館の「青森犬」の大きさに驚いていました  
＼^^／



青森といえば、ねぶた！



三内丸山遺跡で制作体験



「青森犬」の前で「おっき〜い」

## おおさか

**岬** 2班に分かれ、新幹線に乗って大阪と和歌山に行ってきました♪

大阪班はUSJでミニオンズやスヌーピーに会ったり、美味しいものを食べたり・・・

和歌山班はアドベンチャーワールドで海の生きものとサバンナの生き物に会ってきました♪



USJとお好み焼きを堪能♪



## わかやま



綺麗な海と生き物たち 自然を満喫♪

## ★後見的支援室 帆海 「親あるうちの準備を考える連続講座」共催！！



りんごの森が主催し、後見的支援室 帆海 が共催している「親あるうちの準備を考える連続講座」の第2回目は「障害者のすまい」がテーマでした。

地域支援センター 小柴主任がグループホームでの暮らしについて講演し、参加者の方々が熱心に耳を傾けていました。講座終了後も小柴主任の前には質問者の列ができ、グループホームへの関心の高さがうかがえました。

# 金沢地域活動ホーム りんごの森



## ～日中活動 日帰り旅行～



日中活動では利用者の皆様が毎年楽しみにされている日帰り旅行を今年度も実施しています。

東京ディズニーシー、ソレイユの丘、鎌倉散策などの中から利用者の皆様がいきたい場所を選び、グループ毎に出かけてきました。

1ヶ月以上も前から当日を楽しみにされている利用者もあり、日帰り旅行前後で職員にも嬉しそうに日帰り旅行の話をしていました。

来年度も皆様が楽しめる日帰り旅行を実施できるように準備していきます。



### ディズニーシー

当日は天気にも恵まれ  
皆様楽しまれました。



### ソレイユの丘では

綺麗な富士山を  
見ることもできました。



### 鎌倉ぶらり旅

鶴岡八幡宮などを散策し  
お土産も買いました。

## ボランティアさんのご紹介



りんごの森のボランティアコーナーで毎週金曜日に製品販売のボランティアをされている松崎正憲さんをご紹介します。

いつも素敵な笑顔で、りんごの森製品を購入されるお客様を出迎えています。松崎さんにお会いすることを楽しみにされているお客様もいるようです。

今回は松崎さんにインタビューをしてみました。



ダンディで素敵な松崎正憲さん

Q：ボランティアを始めて何年ですか？

A：りんごの森設立当初からボランティアをやらせて頂いている。（15年）

Q：ボランティアをされて良かったことは？

A：いろいろな方とのかかわり、心の触れ合いが一番のやりがいです。

Q：趣味を教えてください。

A：運動全般が好きです。

ソフトボール、グラウンドゴルフ、テニス等



# 釜利谷地域ケアプラザ



## 「RUN 伴+三浦半島 2019」に参加しました

金沢区で初めて行われた「RUN 伴+三浦半島」に釜利谷地域ケアプラザも参加しました。関東学院大学の学生が中心に企画し、およそ50人の学生と地域からの参加者がランニングで区内の地域ケアプラザを巡りながらタスキを繋いでいきました。

釜利谷地域ケアプラザでは、デイサービスの利用者さんと隣接している「花珠の家かなざわ 介護付有料老人ホーム」のご利用者さんがランナーをお迎えしました。ランナーの中には近隣の介護施設「小規模多機能型ハウスふくふく釜利谷」の職員さんの姿も。皆で一生懸命、応援しました♪  
「若いパワーをたくさんもらった！」  
「私もあんなに若い頃があったのね」  
ご利用者さんも笑顔で話されていました。

横断幕を作って到着を待っていました\(^o^)/



ランナーがスロープを登ってやってきました！  
沿道から「がんばって」声援が。

笑顔で記念撮影(^o^)  
皆でプラス「+」ポーズ♪



## 法人からのメッセージ vol.5

## 住み成す

暮らしをすすめています。

釜利谷地域ケアプラザでも、昨年「住み慣れた地域で安心して暮らしていくために」をテーマに地域の皆様、事業所の方と一緒に考える場「かまりやの」を開催し、話し合いを重ねて「高齢者見守りホルダー」事業を開始しました。高齢の方に外出時にキーホルダーを持っていただき、万が一の際にも迅速に身元確認ができるというものです。今年は、地域の中で子どもや高齢者を見守れるよう、顔なじみの関係をつくる「あいさつ運動」も実施中です。安心して暮らせる地域づくりの一步となればと考えています。

これからも法人理念の下に、あらゆる人が支え合いながら安心して暮らせる街づくりを目指し、地域福祉の拠点としての機能を、さらに充実してまいります。ご協力を賜ります様、お願い致します。



すみなす会 横浜市釜利谷地域ケアプラザ  
所長 藤井 万里子

横濱市釜利谷地域ケアプラザは、障害者支援施設 航 と共に平成十三年に開所し、今年で十八年が経過しました。現在、地域活動交流事業、地域包括支援センター事業、生活支援体制整備事業、居宅介護支援事業、デイサービス事業（認知症対応型通所介護やまゆり含む）を実施しています。

団塊の世代が七十五歳以上になり、医療や介護の需要が増加すると見込まれる二〇二五年に向け、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために、健康づくり、介護・認知症予防、保健、医療、福祉、生活支援、生活の場が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が求められています。これまで以上に地域と保健・医療・福祉が、分野を超えて連携を深めていく必要があります。それぞれの専門性や特性を活かし一体となって身近な地域の支え合いの仕組みづくりをすすめています。

# 🍊🍌🌸🍑 柳町地域ケアプラザ 🍊🍌🌸🍑

## 🎪 第2回 柳町ふれあい感謝祭 🎪

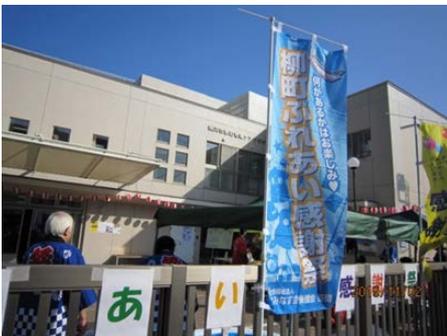
柳町地域ケアプラザふれあい感謝祭を11月2日に開催しました。

記念すべき柳町地域ケアプラザ開設10周年ということで、デイサービスの部屋も開放し、職員全員で地域の皆さまをお迎えしました。

開会式では法人の木下理事長、六浦地区連合町内会の興津会長にご挨拶をいただき、続いてケアプラザ開所以来ボランティア活動をしてくださっている田辺様、木船様に感謝状及び後援会賞を贈呈させていただきました。

催し物としては昨年も好評だった創学館高校吹奏楽部の演奏、フラダンス、創作和太鼓、午前午後に分けて行ったドキドキ抽選会等楽しいプログラムを設定しました。

他にも金沢区内を走る認知症啓発のRUN伴+（ラントモプラス）がケアプラザに立ち寄ったり、フレンドリー楽団という認知症、障がい児・者、当事者を含めたバンド演奏、金沢区幸せお届け大使「ぼたんちゃん」、「うさぎちゃん」も来場者を楽しませてくれました。



秋晴れの中賑やかに開催♪



開会式で行われた感謝状贈呈



田辺様木船様ありがとうございます。



創学館高校吹奏楽部の演奏



フレンドリー楽団のみなさん♪



「ぼたんちゃん」「うさぎちゃん」



昨年の「のぼり旗」に続き、後援会のご支援により「はっぴ」を購入することができました。はっぴを着ることで職員が一つになり、お祭りを盛り上げることができました。ありがとうございました。

### 皆様の“声”

#### 柳町地域ケアプラザふれあい感謝祭に参加して

私達が活動を始めて一年半、「踊れるかしら？見ていただけのかしら？」と不安でしたが、当日は天気も良くスタッフの皆様の協力の元、楽しく踊ることが出来ました。

りんごの森のパン、そして野菜が完売していたのが残念でした。お蕎麦が美味しかったです。

柳町地域ケアプラザの10周年おめでとうございました。益々のご発展をお祈り申し上げます。

エピリマイ代表 蒲谷



フラダンスを披露してくださったエピリマイの皆様

